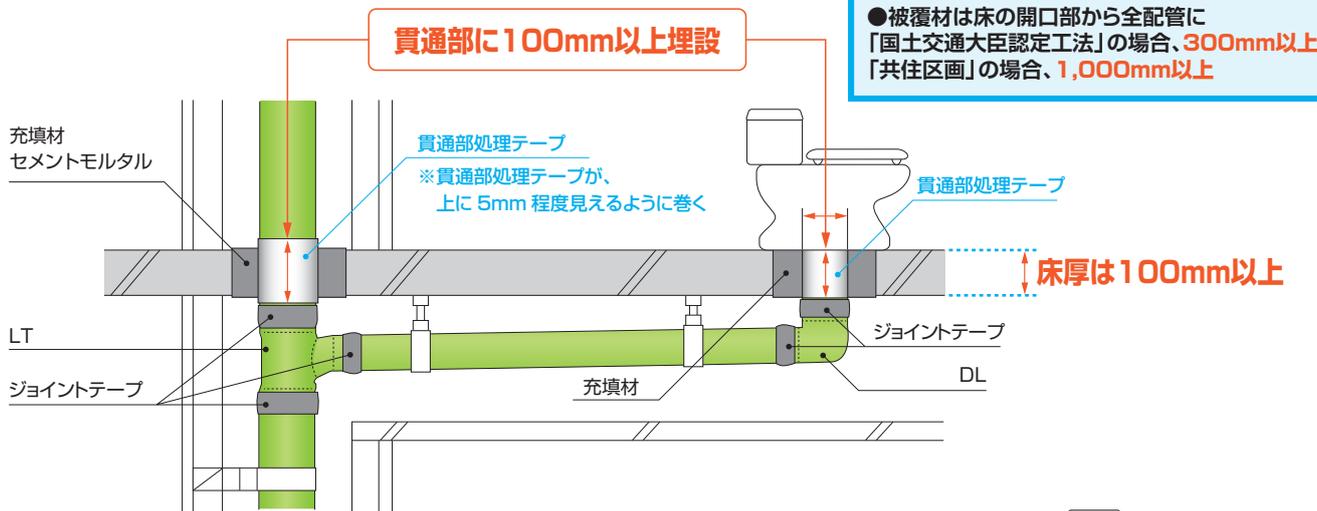


国土交通省大臣認定・(一財)日本消防設備安全センター評定(ALC・RC)

床貫通の配管の施工例

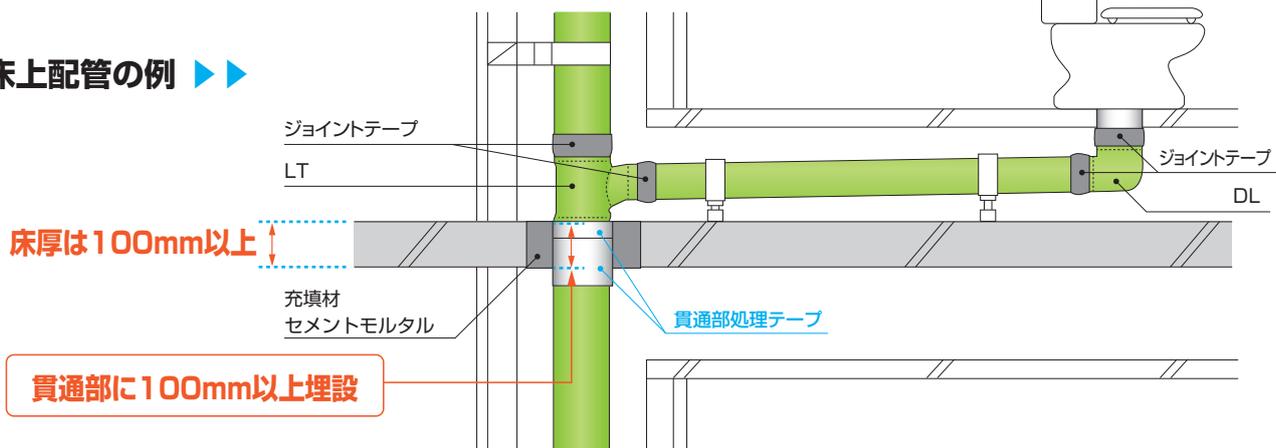
床貫通の施工ポイント(認定条件)

床下配管の例 ▶▶



- 床厚は100mm以上必要
- 貫通部処理テープは貫通部に100mm以上埋設
- 被覆材は床の開口部から全配管に「国土交通大臣認定工法」の場合、300mm以上「共住区画」の場合、1,000mm以上

床上配管の例 ▶▶



重要 国交省大臣認定、及び (一財)日本消防設備安全センター性能評定書より抜粋

	耐火音ナイン 呼び径	開口径	
		ホールソー径(mm) (ALC床)	ボイド管呼び径 (コンクリートスラブ床)
直管	125	182	175
	100	165, 160, 155	150
	75	140, 130, 125	150, 125
	65	120, 115, 110	150, 125
	50	100, 95, 90	100, 90
	40	90, 85, 80	90, 75
継手	125	180	175
	100	160, 155, 150	150
	75	130, 125, 120	150, 125
	65	115, 110, 105	125, 100
	50	100, 95, 90	100, 90
	40	85, 80, 75	90, 75

●上記の表は、認定条件(占積率:直管75.4%以下、継手88.3%以下)を満たすサイズとなっています。
●継手が貫通部に埋設される場合は、継手のサイズを参考にしてください。

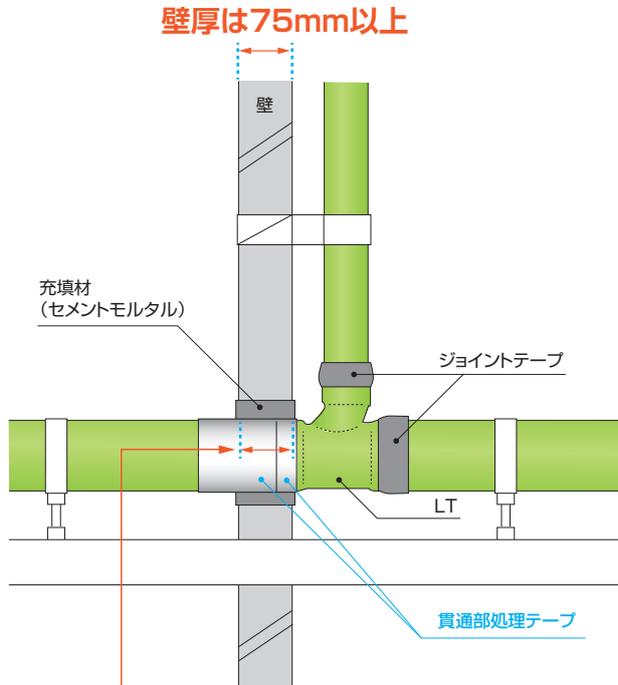
⚠ 要注意 - 床の構造 -
ALCパネル、または、鉄筋コンクリートの床の厚さは、100mm以上あるものに施工してください。(認定条件)

⚠ 注意点

- ①床の開口部
耐火音ナインの呼び径に合わせて、開口部の穴の直径が、左の表のいずれかのサイズになるように施工してください。(認定条件)
- ②貫通部の処理
貫通部において貫通部処理テープが100mm以上埋め戻されるよう巻き付けたうえ、セメントモルタルを充填し、埋め戻してください。
- ③埋設が可能な継手
DT, LT, DSのみ埋設が可能です。
- ④伸縮継手の使用
施工後の温度変化による熱伸縮のトラブルを防止するため、必ず伸縮継手(ES)をご使用ください。

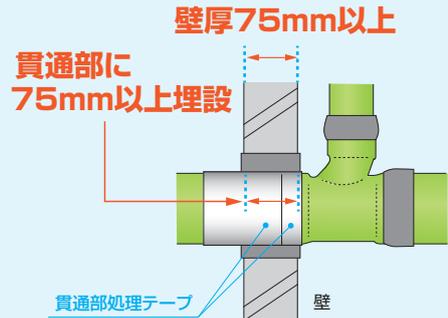
国土交通省大臣認定・(一財)日本消防設備安全センター評定(ALC・RC)

壁貫通の配管の施工例

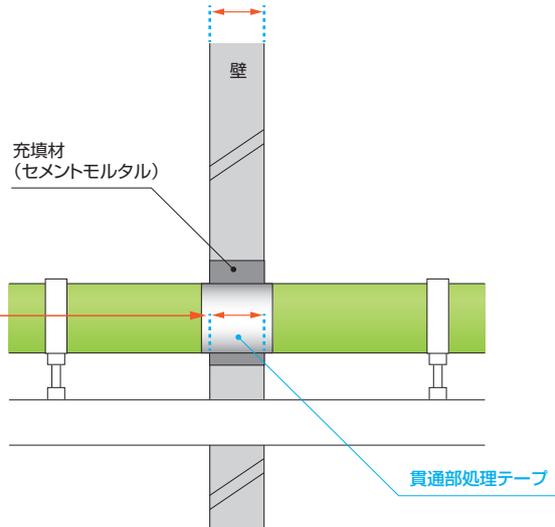


壁貫通の施工ポイント(認定条件)

- 壁厚は75mm以上必要
- 貫通部処理テープは貫通部に75mm以上埋設
- 被覆材は床の開口部から全配管に
「国土交通大臣認定工法」の場合、300mm以上
「共住区画」の場合、1,000mm以上



壁厚は75mm以上



重要

国交省大臣認定、及び
(一財)日本消防設備安全センター性能評定書より抜粋

	耐火音ナイン 呼び径	開口径	
		ホールソー径 (mm) (ALC壁)	ボイド管呼び径 (コンクリートスラブ壁)
直管	100	158	150
	75	150, 140, 130	150, 125
	65	125, 120, 115	150, 125
	50	105, 100, 95	100, 90
	40	90, 85, 80	90, 75
継手	100	160, 155, 150	150
	75	125, 120, 115	150, 125
	65	115, 110, 105	125, 100
	50	95, 90, 85	100, 90
	40	85, 80, 75	90, 75

- 上記の表は、認定条件(占積率:直管69.8%以下、継手87.8%以下)を満たすサイズとなっています。
- 継手が貫通部に埋設される場合は、継手のサイズを参考にしてください。

⚠️ 要注意 - 壁の構造 -

ALCパネル、または、鉄筋コンクリートの壁の厚さは、75mm以上あるものに施工してください。(認定条件)

⚠️ 注意点

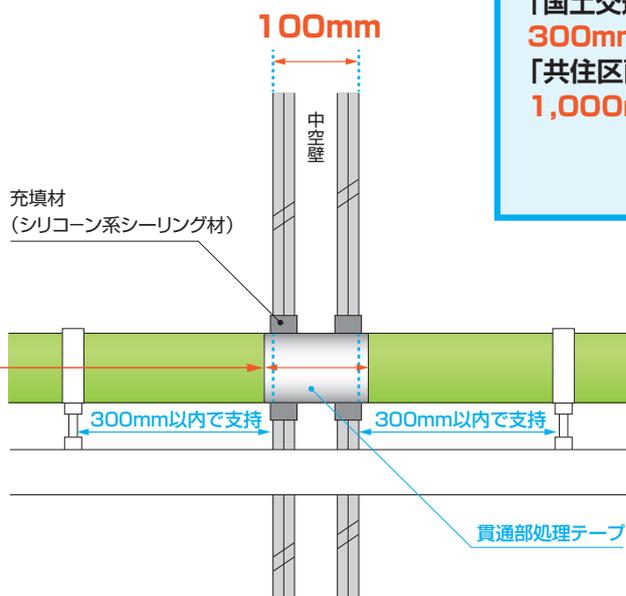
- ① 床の開口部
耐火音ナインの呼び径に合わせて、開口部の穴の直径が、左の表のいずれかのサイズになるよう施工してください(認定条件)
- ② 貫通部の処理
貫通部において貫通部処理テープが75mm以上埋め戻されるよう巻き付けたうえ、セメントモルタルを充填し、埋め戻してください。
- ③ 埋設できない継手
伸縮継手、SS 継手は区画貫通部に埋設しないでください。

国土交通省大臣認定・(一財)日本消防設備安全センター評定(ALC・RC)

中空壁貫通の配管の施工例

中空壁貫通の施工ポイント(認定条件)

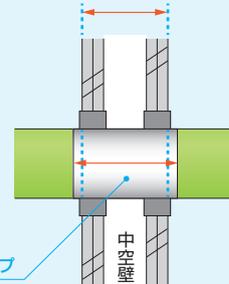
壁厚100mmの例 ▼



壁厚(100mm)以上埋設

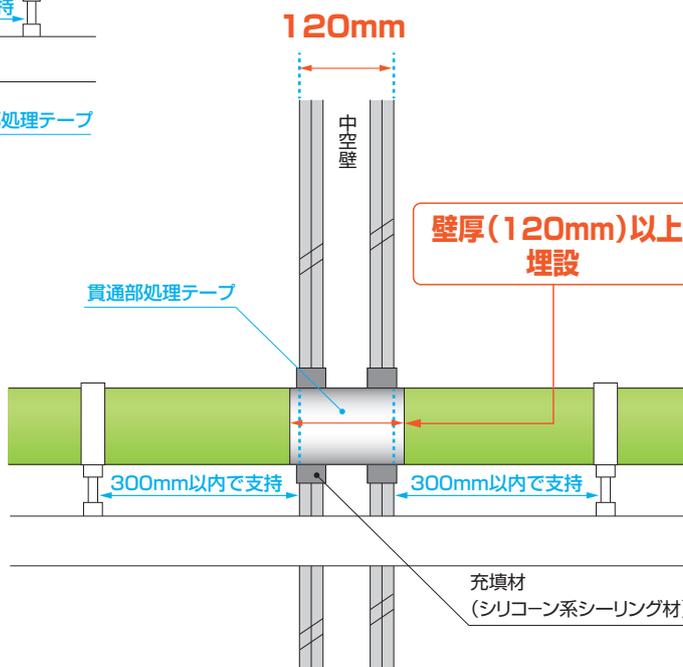
- 壁厚は100mm以上必要
- 貫通部処理テープは壁厚以上埋設
- 被覆材は床の開口部から全配管に「国土交通大臣認定工法」の場合、300mm以上「共住区画」の場合、1,000mm以上

壁厚100mm以上



貫通部処理テープ

▼ 壁厚120mmの例



壁厚(120mm)以上埋設

貫通部処理テープ

充填材
(シリコン系シーリング材)

重要

国交省大臣認定、及び
(一財)日本消防設備安全センター性能評定書より抜粋

	耐火音ナイン 呼び径	開口径
		ホールソー径(mm)
直管	100	150
	75	125
	65	112
	50	96
	40	84

●上記の表は、認定条件を満たすサイズとなっています。(占積率:直管77.5%以下)

⚠ 要注意 - 中空壁の構造 -

中空壁の厚さが、100mm以上あるものに施工してください。(認定条件)

⚠ 注意点

① 中空壁の開口部

耐火音ナインの呼び径に合わせて、開口部の穴の直径が、左の表のいずれかのサイズになるよう施工してください。(認定条件)

② 貫通部の処理

貫通部において貫通部処理テープが壁厚以上に埋め戻されるよう巻き付け、**シリコン系シーリング材を充填し**、埋め戻してください。